



KITAKYUSHU **SDGs** Action



北九州市 SDGs 地域副読本

まえがき

私たちの未来をよりよいものにするために、国連サミットで持続可能な開発目標 (SDGs) が採択されてから、5年の月日が経ちました。現在、北九州市では、全市をあげてSDGsの達成に向けたさまざまな取り組みを進めています。

教育委員会においても、「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を2019年8月に策定し、教育活動全体をSDGsに示される17の目標の視点で整理するとともに、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念のもとで、学校教育を進めることとしています。

このような中で、SDGsに関する学習を各学校の教育活動に取り入れやすくするために、このたび、本書「北九州市SDGs地域副読本 KITAKYUSHU SDGs Action」を発刊することとしました。

本書では、SDGsの各目標の視点から、世界的な課題を知ることができます。また、課題の解決に向けての日本の取り組みや北九州市役所、北九州市に関わる企業・団体などの地域の取り組みについて学べるようにしています。さらに、これらの内容を学んだ上で、2030年を見据えた自分自身の行動について考えたり、英語で発信したりできるように構成しています。

SDGsへの関心を深め、世界や日本、北九州市に存在する課題を自分事としてとらえ、持続可能な社会の実現に向けて自ら行動を起こせるようになることは、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けることにつながるものと考えています。本書での学びを通じて、みなさんがこれらの力を高めていくことを期待しています。

北九州市教育委員会

目次

| | |
|----------------|---|
| SDGsって何だろう？ | 4 |
| SDGsの17の目標 | 6 |
| 「まとめ」でとらえるSDGs | 7 |
| SDGsの先進都市 北九州市 | 8 |

SDGs17の目標と地域の取り組み

| | | | |
|----------------------------|----|-----------------------------|----|
| 目標1 貧困をなくそう | 10 | 目標10 人や国の不平等をなくそう | 28 |
| 目標2 飢餓をゼロに | 12 | 目標11 住み続けられるまちづくりを | 30 |
| 目標3 すべての人に健康と福祉を | 14 | 目標12 つくる責任 つかう責任 | 32 |
| 目標4 質の高い教育をみんなに | 16 | 目標13 気候変動に具体的な対策を | 34 |
| 目標5 ジェンダー平等を実現しよう | 18 | 目標14 海の豊かさを守ろう | 36 |
| 目標6 安全な水とトイレを世界中に | 20 | 目標15 陸の豊かさを守ろう | 38 |
| 目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 22 | 目標16 平和と公正をすべての人に | 40 |
| 目標8 働きがいも 経済成長も | 24 | 目標17 パートナリーシップで 目標を達成しよう | 42 |
| 目標9 産業と技術革新の 基盤をつくろう | 26 | | |

| | |
|----------------|----|
| 英語で発信 私たちのSDGs | 44 |
| 取材協力先 | 46 |

エス ディー ジーズ

SDGsって何だろう？

2030年までに達成する世界の約束

気候変動による異常気象、海や森などの自然環境の破壊や汚染、経済成長による格差の広がり、多発する紛争……私たちの世界には、解決しなければならないたくさんの課題があります。こうした課題をそのままにしては、世界の未来はよい方向に進むどころか、今より悪い方向に進んでしまうかもしれません。

SDGsは、世界が抱えるさまざまな課題を解決して、よりよい未来をつくるための「世界の約束」です。2015年に国連サミットで採択され、2030年までの達成を目指しています。

誰一人取り残さない社会をつくる

SDGsができる前の2001年から15年間、世界はMDGs（ミレニアム開発目標）に取り組んできました。MDGsは、貧困を解決する、HIVなど感染症の拡大を防ぐ、男女の間の不平

等をなくす、教育の機会を与えるなど、主に途上国が抱える8つの課題について、先進国が協力して解決していこうというものでした。

2015年になり、MDGsはかなりの成果を上げましたが、当初の目標を完全には達成できず、また、途上国の一部の地域では十分な解決ができませんでした。加えて、2015年の世界を見渡してみると、格差や健康、不平等など、先進国にもさまざまな課題があることが明らかになりました。

こうしたことから、途上国も先進国も「誰一人取り残さない」よりよい社会をつくるための新たな目標づくりに注目が集まるようになりました。

みんなで決めた17の目標

そこで、世界中の国の代表者、教育や保健などの専門家、女性や若者など、さまざまな立場の人が参加して、人々のよりよい生活のさまた

げになっている問題について、話し合いを行いました。そして、私たちのような市民からも意見を集め、「貧困をなくそう」「不平等をなくそう」「気候変動への具体的な対策をしよう」など、これからの世界が解決すべき17の目標（ゴール）と、169の具体的な取り組み目標（ターゲット）をつくりました。そして、目標が達成されているか確かめる方法も決めました。

一人一人が主役のSDGs

SDGsはさまざまな立場の人が意見を出し合って決めたものです。ですから、その達成に向けては、企業や自治体、個人なども自由に参加できるようになっています。また、一つひとつの目標を見てみると、あらゆる立場の人が行動を起こさなければ、達成できないものも少なく、私たち一人一人の小さな行動が、SDGsを達成するためにはとても重要なものだということが分かります。

未来をつくる道しるべ

では、私たちには何ができるのでしょうか？ 実は、その問いに正解はありません。なぜなら、SDGsにはこうしなさいというルールや決まりが一切ないからです。実際に何をどのように取り組むかは私たち自身に任されているのです。

さあ、あなたは17の目標のどれに取り組んでみたいですか？ 複数の目標を関連づけて取り組むこともできます。目標が決まったら、どうすればそれを達成できるのか、小さくてもよいので今の自分にできることを考えて、具体的な計画を立ててみましょう。そして、その計画が本当に達成可能なのか、周りの人に聞いてみたり、時々振り返ってみたりすることも大切です。そうしていくことで、あなたの計画は達成可能なものになり、よりよい未来をつくる大切な計画になることでしょう。

持続可能な開発とは？

「持続可能」とは、今だけではなくずっと続けていける、ということで、「開発」というのは、今あるいろいろな問題を解決して、みんなが安心して満足した暮らしができるようにする、ということです。

つまり、「持続可能な開発」とは、将来の人に負担を残したり、押し付けたりするようなことをしないで、今を生きる人たちの問題を解決していく、という意味になります。

SDGs = Sustainable Development Goals

持続可能な

開発

目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの目標にはどのようなものがあるでしょうか。まずは17の目標をアイコンと一緒に見てみましょう。気になる目標は10ページ以降で確認してみましょう。

目標1
貧困をなくそう
NO POVERTY

目標2
飢餓をゼロに
ZERO HUNGER

目標3
すべての人に健康と福祉を
GOOD HEALTH AND WELL-BEING

目標4
質の高い教育をみんなに
QUALITY EDUCATION

目標5
ジェンダー平等を実現しよう
GENDER EQUALITY

目標6
安全な水とトイレを世界中に
CLEAN WATER AND SANITATION

目標7
エネルギーをみんなにそしてクリーンに
AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY

目標8
働きがいも経済成長も
DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH

目標9
産業と技術革新の基盤をつくろう
INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

目標10
人や国の不平等をなくそう
REDUCED INEQUALITIES

目標11
住み続けられるまちづくりを
SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

目標12
つくる責任 つかう責任
RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

目標13
気候変動に具体的な対策を
CLIMATE ACTION

目標14
海の豊かさを守ろう
LIFE BELOW WATER

目標15
陸の豊かさも守ろう
LIFE ON LAND

目標16
平和と公正をすべての人に
PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS

目標17
パートナーシップで目標を達成しよう
PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

JAPAN SDGs Action Platform (外務省)
このサイトでは17の目標と169のターゲットをすべて見ることができます。



「まとめり」でとらえるSDGs

SDGsの目標を一度に覚えようとすると大変です。そこで、いくつかの「まとめり」を意識すると理解しやすくなります。

1から6までは、貧困や飢餓などMDGsから引き継がれている目標で、いまだ途上国にとって大きな社会的な目標です。7から12までは、エネルギーや産業、雇用など、先進国にも関係する経済的な目標、13から15までは環境・自然に関する目標、そして、16、17はすべてに共通して関わりのある目標となっています。



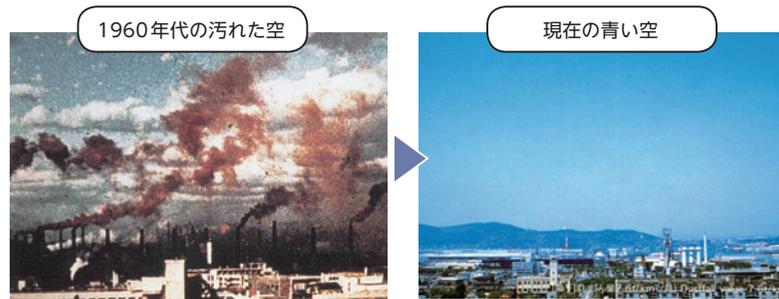
環境（自然）の上に社会が成り立ち、その上に経済が成り立っていることを考えると、私たちがよりよく生きるためには、これら3つの分野の調和と、誰一人取り残さない社会をつくるために、平和やパートナーシップの観点が必要だというのが分かります。

目標によっては、環境と経済、社会と経済に関わるものもあり、必ずしも明確にまとめられるわけではありませんが、おおよその「まとめり」でとらえると、SDGsの理念や考え方が理解しやすくなると思います。

公害の克服から「環境モデル都市」、「環境未来都市」への発展

1960年代、北九州市は工業都市として発展する一方、「七色の煙」といわれた大気汚染など深刻な公害が発生しました。

この状況に対して、市民、企業、行政などが一体となって取り組んだ結果、現在の青い空を取り戻しました。「誰一人取り残さない」という考え方のもと、公害克服で培われた市民力や技術力を活かし、国際貢献、リサイクル、地球温暖化対策へのチャレンジに加え、社会面、経済面における日本の将来の課題へと、その取り組みをつなげていった結果、2008年に環境モデル都市に、2011年に環境未来都市に選定されました。



ESDの取り組み

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略称で、「持続可能な開発のための教育」と訳され、「持続可能な未来や社会づくりのために行動できる人の育成を目的とした教育」のことをいいます。ESDの『SD』とSDGsの『SD』は同じもので、SDGsよりも前から国際的に取り組まれてきました。ESDはSDGsの目標の一つに留まらず、すべての目標の達成のため世界的に取り組まれています。

北九州地域では、2006年に産学官民から成る「北九州ESD協議会」が発足し、現在までさまざまなESD活動を行っています（くわしくはコラム参照）。



SDGsはこれまでESDで取り組んできた、あるいは、今後向き合うべき課題やテーマを具体的に掲げ、その解決に向けた方向性を明確に示したものととらえることができます。

SDGs未来都市に選定

北九州市では、これらの取り組みを土台に、SDGsを積極的に推進しています。2017年12月には、第1回「ジャパンSDGsアワード」において特別賞を受賞しました。主催者である国からは、「北九州市の環境・国際貢献をはじめとする取り組みはトップレベルの功績であり、ほかの自治体の手本になる」という評価を受けています。また、2018年6月には、国からSDGsに先進的に取り組む自治体として「SDGs未来都市」に選定されました。SDGs未来都市に選定されたことを受け、同年8月に「北九州市SDGs未来都市計画」を策定して取り組みを進めています。



国際社会で高い評価を受ける北九州市の取り組み

北九州市のSDGsに関する取り組みは、国際社会でも高い評価を受けています。経済協力開発機構（OECD）より2018年4月に「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域で初めて選定されました。同年7月には、世界各国がSDGsの進捗を報告し、達成に向けたフォローアップなどを行う会合である「国連ハイレベル政治フォーラム」に北九州市長が参加しました。その中の「地方・地域政府フォーラム」で、北九州市長が日本の自治体代表として、北九州市のSDGsに関する活動をアジア地域で唯一発表し、北九州市および日本の取り組みを世界に発信しました。



多様な取り組みを行う北九州市

北九州市では、持続可能なまちをつくるため、「2050年までに脱炭素社会の実現」を目指す「ゼロカーボンシティ」を2020年10月に表明しました。環境と経済の好循環を生み出し、国内外の脱炭素に貢献する「北九州モデル」の構築に取り組んでいます。また、SDGsに取り組む「市民力」を高めるため、地域課題の解決に向けた活動を行う市民団体などへの支援や、SDGsに関する高校生の探究学習などの成果発表会である「高校生SDGs選手権大会」など、SDGsに関するさまざまな取り組みを実施しています。

さらに、2021年4月から「SDGs」をテーマとした「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」を開催し、アートによって持続可能な未来社会への関心を高め、よりよい未来に向けての提案を行っていくなど、多方面からSDGsの推進に取り組んでいきます。

Column 北九州ESD協議会



北九州ESD協議会は市民を中心に市民団体・企業・教育機関・行政などから構成され、国連大学からESDの推進拠点であるRCEに国内4番目に認定されています。市内のさまざまな分野の団体とのパートナーシップにより、大学生による普及イベントや韓国との定期的な国際交流など10年以上活動しています。また、市内で取り組まれている優れたSDGs・ESD活動を取り上げ、その団体や学校を表彰し、広く市内外へ情報発信しています。



webでくわしく

webでくわしく

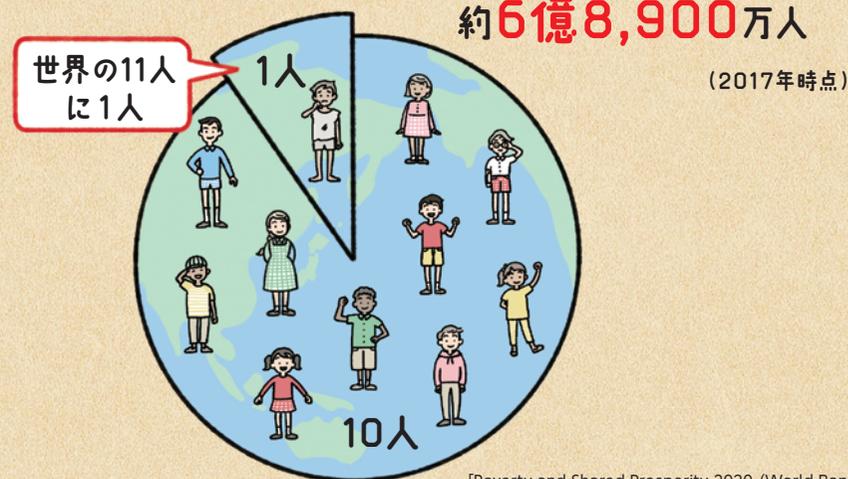




貧困をなくそう NO POVERTY

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

極度の貧困状態（1日1.9ドル未満）で暮らすのは、
約6億8,900万人



「Poverty and Shared Prosperity 2020 (World Bank)」より作成



「貧困」って何だろう？

地球上には、生活に困るほどの「貧困」に苦しむ人が大勢います。日本で暮らしていると、貧困の問題を想像しにくいかもしれませんが、貧困とはどのようなことをいうのでしょうか。

世界には、世界銀行が定めた国際貧困ライン「1日1.9ドル（約210円）未満で暮らす人」が、今もまだ約6.9億人います。1日1.9ドルでは、健康に生きていくための食べ物、水、医療などのサービスも十分に得ることはできません。また、こうした人たちは教育を受ける余裕もなく、親から子どもへと貧しさが受け継がれ、貧しさから抜け出すことができずにいます。1990年以降、こうした極度の貧困（絶対的貧困）状態で暮らす人たちは大幅に減ったものの、世界のあらゆる場所で貧困の問題は残り続けています。そして、貧困には、その国の生活水準と比べて貧しい暮らしをせざるを得ない人たち（相対的貧困）も含まれます。こうした人は先進国にもたくさんいて、彼らはその国で暮らす人との格差が広がり、社会的・経済的に弱い立場で苦しみ、差別や偏見の対象にされてしまうこともあります。

世界からあらゆる貧困をなくすためには、今、貧困状態に苦しんでいる人に対する支援が必要ですが、貧しい人たちが自分たちで生活を向上させられるような「自立」へのサポートも大切です。

英語で学ぶ！

poverty…貧困 social protection…社会保障 contribute…寄付する
Non-Profit-Organization…NPO（特定非営利活動法人）



途上国の「質の高い成長」のために

世界から貧困をなくす、特に絶対的貧困をなくすためには、経済成長の実現が不可欠です。

そこで日本は、貧困状態の人が多く暮らしている、途上国の「質の高い成長」を実現するために、国として支援をしています。2018年に実施した政府開発援助（ODA）の支出総額は約1兆9,000億円。これは、世界第4位の金額です。感染症対策、産業・教育支援、人材育成、法制度の整備など、途上国のさまざまな課題の解決のために、資金や技術の提供を行っていますが、その基本となる考えは、「途上国の人たち自身の手による努力」を支援すること。日本は、こうした支援を通して、途上国の「質の高い成長」を促し、それを通して貧困をなくすことを目指しています。



途上国での教育支援活動（写真：JICA）



地域の取り組み

自由で平和かつ豊かな世界の実現に向けて —途上国への国際協力 JICA 九州—

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、日本のODAを一元的に行う実施機関で、自由で平和かつ豊かな世界の実現に向けて途上国への国際協力を行っています。海外に96拠点、国内には東京の本部に加え、14拠点がいますが、九州全域を管轄するJICA九州は八幡東区にあります。

JICA九州では、地域の自治体や大学、NGO、民間企業などと連携し、世界各国から研修員を受け入れる事業や途上国へ技術支援を行う活動など、SDGsに関連する幅広い取り組みを行っています。

JICA九州が支援する取り組みとして、福岡にある社会医療法人雪の聖母会とNPO法人ISAPHが行うアフリカのマラウイでの活動があります。本活動では、栄養改善などに関する知識の普及に加え、野菜の栽培・鶏などの飼育を支援し、食料の安定供給による子どもの栄養改善や、余剰作物の換金による収入向上などを通じた貧困の解消にも取り組んでいます。



マラウイでの野菜などの栽培支援（写真：NPO法人 ISAPH）

webでくわしく



考えてみよう

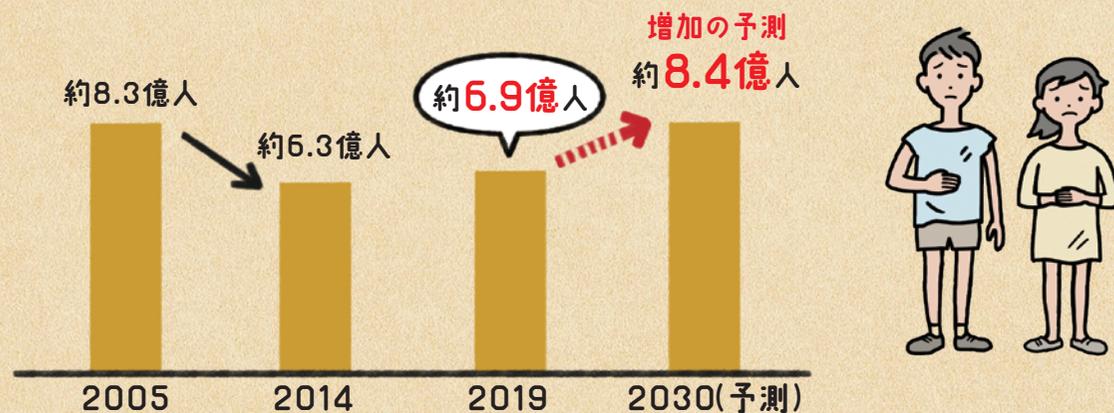
- ① 「貧困」がSDGsのほかのゴールとどのように関わっているのか考えてみよう。
- ② 「世界の貧困」をなくすため、寄付のほかに私たちができることを考えてみよう。



飢餓をゼロに ZERO HUNGER

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

栄養不良の人々



[The State of Food Security and Nutrition in the World 2020 (FAO)]より作成



「飢餓」って何だろう？

十分な食べ物を食べられずに栄養不足になり、健康を保つことができなくなった状態のことを「飢餓」といいます。世界では今も、約6.9億人が飢餓に苦しんでいて、2030年には約8.4億人に増えると予想されています。飢餓に苦しむ人の多くは、アジアやアフリカ地域の途上国の農村部に住む貧しい農家の人たちで、飢餓が原因で命を落としてしまう子どもも少なくありません。

飢餓はどうして起こるのでしょうか？ その原因は、気候変動による干ばつや紛争、途上国の農業技術が低いといった理由で、食料を十分に生産できていないことにあります。飢餓で苦しむ人々には、国際社会が協力して食料を届ける援助をしています。こうした援助に頼らずに、途上国の人々が自分たちで十分な量の食料を生産できるようになることが、飢餓の解決につながっていきます。

とはいえ、生産力を高めるために、やみくもに畑を広げたり、肥料を使ったりすればよいというわけではありません。環境や生態系を守りながら、災害にも強く、将来にわたって食料を生産し続けられる方法を実践する必要があります。そのために、先進国が持つ知恵やノウハウを途上国に伝え、持続可能な農業の仕組みを協力してつくりだすことが必要です。

英語で
学ぶ!

hunger…飢餓 agriculture…農業
food insecurity…食料不安 food security…食料安全保障



日本の取り組みは？

日本は、地球規模での課題である食料問題に、先進国の立場として積極的に取り組んでいます。その一つに、アフリカの食料安全保障と貧困削減への取り組みがあります。

2008年、日本は、アフリカの稲作を盛んにするための共同体を設立し、それ以来、2018年までにサブサハラ・アフリカ(サハラ砂漠より南の地域)のコメ生産量を、2008年時点から倍増させることを目標に活動してきました。2017年にはこの目標を達成し、現在は生産量をさらに倍増させる目標を設定し、取り組みを進めています。また、自給自足のための農業から「収入を得るため」の農業への転換を図り、経済的な自立ができるように、専門家を派遣して途上国における農業人材の育成も実施しています。



日本人専門家による途上国への農業支援(写真:久野真一/JICA)



地域の取り組み

飢餓から難民を救う —中村 哲さんの取り組み—

「誰もがそこへ行かぬから、我々が行く。誰もしいから我々がする」紛争が続くアフガニスタンなどで35年にわたり活動した、中村哲さんの言葉です。中村さんは、パシヤワール会現地代表および現地の事業体の総院長であり北九州市にもゆかりのある人物です。

中村さんは、無医村での医療活動をはじめ、干ばつによる飢餓から難民化する人々を救うために、井戸掘りや用水路建設などの事業を進め、約1万6,500ヘクタール(小倉南区ほどの面積)の土地を緑に生まれ変わらせるなど、難民のさまざまな課題の解決に尽力されました。しかし、2019年12月、アフガニスタンで銃撃を受けて亡くなりました。危険をかえりみず、人々のために身を捧げた姿には、世界からも感謝と悲しみの声が届きました。国内でも中村さんの功績を称え、2020年に福岡県県民栄誉賞が贈呈されています。



アフガニスタンの人々と話す中村さん

webでくわしく



考えて
みよう

- ① 「世界の飢餓」をなくすため、寄付のほかに私たちができることを考えてみよう。
- ② 中村哲さんは、どうして30年以上も現地で貢献活動が続けることができたのか考えてみよう。



すべての人に健康と福祉を GOOD HEALTH AND WELL-BEING

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

5歳になる前に亡くなる子どもの数
520万人 (2019年)



[Levels & Trends in Child Mortality Report 2020 (Unicef)] より作成



誰もが健康で元気でいられるために

いつまでも健康で元気に暮らしていくこと。それは、あらゆる人の共通の願いです。しかし、世界では、毎年、500万人を超える子どもが5歳の誕生日を迎えることなく、命を落としています。特に途上国では、病気の予防に関する正しい知識や治療が行き届いておらず、本来防げるはずの病気で多くの子どもたちが命を落としています。マラリアやエイズ (HIV 感染症) などの危険な感染症も正しい知識や予防法を知っていれば、防ぐことができます。

教育、文化、医療、労働など、最低限の幸せな生活を送るために社会が援助するサービスのことを「福祉」といいますが、途上国には、こうした福祉が行き届いていません。そのため、貧しい人たちは、病院にお金が払えず、病気やケガの治療を受けられずにいます。検査や手術の設備、薬、医者、救急車など、治療を受けるための環境が整っていないことも大きな問題です。

また、先進国においても、肥満や糖尿病といった生活習慣が原因の病気や、たばこや酒、薬物の乱用、環境汚染などで健康を害する人、ストレスで精神的な病を抱える人が増えています。

こうした課題を解決するため、医療環境の整備、性や病気の予防に対する正しい知識の提供、健康や運動習慣に関するプログラムの開発などの取り組みが求められています。

英語で
学ぶ!

health…保健、衛生 well-being…福祉
disease…病気 communicable disease…感染症



日本で生まれた「母子手帳」

日本で生まれた「母子健康手帳 (母子手帳)」は、妊娠中の母親の状態や出産後の子どもの成長、予防接種などを記録するもので、母親と子どもの健康を守るのに役立ちます。妊娠中から出産後まで、母子の状態を正しく記録することで、適切なケアが行えるだけでなく、母親が健康に関する知識を得ることで、母親としての意識の向上や行動変容を促すことができます。



インドネシアでの母子手帳活用の様子 (写真: 今村健志朗/JICA)

日本は、この知見を活かして、途上国における母子の健康改善への活動に取り組んでいます。日本の協力により、インドネシアでは、全国的に母子手帳が定着し、アフガニスタンやタジキスタンでは母子手帳の試行運用が始まりました。ほかに、ガーナをはじめとするアフリカ各国において、母子手帳を活用した取り組みが行われています。



地域の取り組み

世界に「医」を届ける — 認定NPO法人ロシナンテス —

ロシナンテスは、アフリカのスーダンなど十分に医療体制の整っていない地域の人々に医療を届けるNPO法人です。理事長の川原尚行さんは、北九州市出身で、ロシナンテスは国内では北九州市を拠点に活動しています。

川原さんは、外務省の医務官としてスーダンに渡りましたが、スーダンの厳しい医療の状況を知り、大使館関係者の医療や在留邦人の健康相談などを行う医務官を辞め、2006年にロシナンテスを設立し、スーダンを中心に現地の人に医療活動の支援をしています。

ロシナンテスでは、医療施設のない村々を回って医療を提供したり、国や地域と協力しながら診療所をつくったり、給水所の整備や学校建設、栄養改善などの保健事業を整備したりすることで、現地の人たちだけで医療を継続できる仕組みづくりをしています。



スーダンの子どもと交流する川原さん

webでくわしく



考えて
みよう

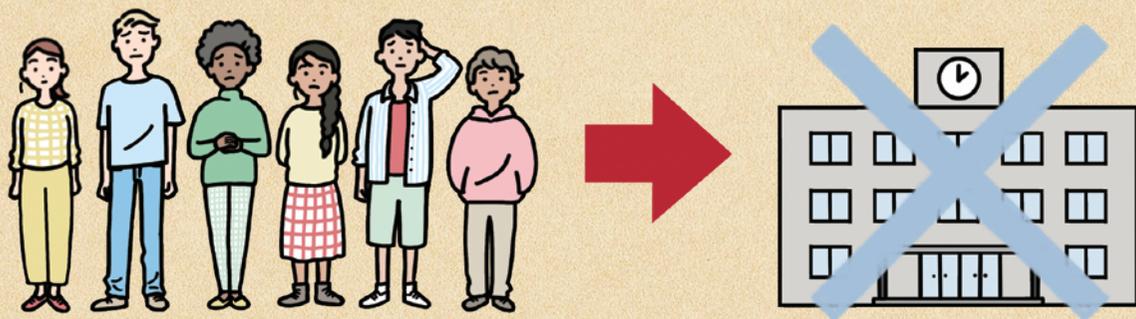
- ① 世界の人々が健康で元気に暮らすためには、何が必要か考えてみよう。
- ② ①で考えたことから、私たちにできる取り組みを1つ選び、考えを交流してみよう。



質の高い教育をみんなに QUALITY EDUCATION

すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

小学校に通えない子どもの数 5,900万人
中学校に通えない子どもの数 6,200万人



[UIS Fact Sheet No.56 (UIS)] より作成



未来をつくるために欠かせない「教育」

世界には学校に通えず、教育を受けることができない子どもたちが約1.2億人もいます。このうち、小学校に入学する年齢になっても学校に通えない子どもたちの約半分は、紛争や戦争のある場所に暮らしています。そして、世界では、男の子に比べて女の子は教育を受けられる機会が少ないという問題もあります。男女という性別の違いだけでなく、経済力の差があっても、少数民族、障害者などの社会的に弱い立場の人であっても、平等に教育を受けられる社会を目指さなければなりません。

教育を受けることは、子どもたちが未来への希望をつなぎ、よりよい社会をつくるために欠かせないことのひとつです。特に、貧しい暮らしをしている子どもにとっては、教育を受けることが、貧しさから抜け出し、安定した収入のある仕事に就くチャンスにもつながります。すでに大人になっている人にも、日々生活するために必要な知識や技能について、いつでも教育を受けられる環境をつくるのが大切です。そして、目標4には、読み書き計算などの基本的な能力のための教育だけではなく、気候変動や人権、平和など、持続可能な開発について学ぶ機会を増やし、SDGsの担い手となる人を育てるための教育も求められています。

英語で
学ぶ!

education…教育 primary education…初等教育(小学校など)
secondary education…中等教育(中学校・高等学校など)
no one will be left behind…誰一人取り残さない



日本の教育の海外展開

日本では、9年間の義務教育に関して、公立学校の授業料が無償であり、また教科書も無償となっており、誰でも学校に通うことができるようになってきました。また、義務教育段階を超えて、高等学校や大学の授業料負担に関する支援なども充実してきています。さらに、日本は、国際的な学習到達度調査(PISA)では、諸外国の中で基礎学力が高いグループにいます。

これらのこともあり、国際的な団体が2020年に各国のSDGsの達成状況を分析したレポートにおいて、日本は目標4については高い評価を受けています。

さらに当番活動をはじめとした規律ある生活習慣を育む教育なども、世界から注目を浴びています。

※ドイツのベルテルスマン財団および持続可能な開発ソリューション・ネットワーク(SDSN)



日本式教育を取り入れているエジプトの学校 (写真: 光石達哉/JICA)



地域の取り組み

「誰一人取り残さない」教育の実現に向けて —北九州市の教育プラン—

北九州市では、教育基本法に基づいて、今後の学校教育のビジョンやアクションなどをまとめた「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を策定しています。

この教育プランでは、学校教育のビジョンやアクションをSDGsに示される17の目標の視点で整理するとともに、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を踏まえて、教育活動を行っていくこととしています。

また、障害のある人もない人も一緒に楽しみ、誰もが参加できる「ふうせんバレーボール」は、北九州市生まれのスポーツです。市内の学校の教育活動で活用され、「北九州市長杯小学生ふうせんバレーボール大会」などの大会も開催されています。



北九州市生まれのふうせんバレーボール

webでくわしく



考えて
みよう

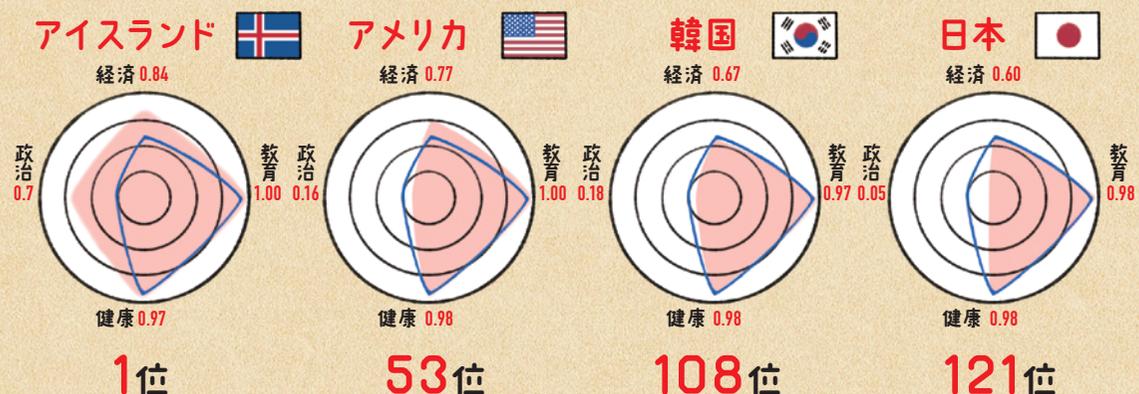
- ① 「誰一人取り残さない」教育を実現するために、大事なことを考えてみよう。
- ② ①で考えたものの中で、私たちが身近にできることを考え、どのように行動したらよいか考えてみよう。



ジェンダー平等を実現しよう GENDER EQUALITY

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

主な国のジェンダーギャップ指数



その国のスコア (赤い線) 世界の平均スコア (青い線)
※1に近づくほど男女平等を示している (調査対象は153カ国)

[Global Gender Gap Report 2020 (WEF)] より作成



「女性」だから差別される？

「外で働くのは男性で、家のことをするのは女性」「男性は青、女性はピンク」など、みんなが無意識に決めつけている男女の社会的・文化的な違いのことを「ジェンダー」といいます。そして、こうした先入観や決めつけによる慣習や制度が、ジェンダー間の不平等や格差を生んでいます。

世界には「女性である」というだけで、教育を受けられなかったり、大人になる前の10代で結婚、妊娠、出産させられたり、さらには人身売買で売られてしまったりする人がいます。

大人になっても、外で自由に仕事をすることが許されなかったり、日常的に暴力を受けたり、性差別的な扱いをされたりして、苦しむ女性も少なくありません。

これらは、途上国だけの問題ではありません。家事や育児、就職や昇進、政治や地域社会への参画などの場面で、女性が平等な機会を得られていない状況は、先進国でも数多く見られます。

SDGsが目指すのは、男性も女性も社会的に平等であることです。女性だから、男性だから、というだけで差別を受けることがなく、誰もが機会を与えられ、能力を最大限に発揮できる社会をつくる努力が必要です。そして、こうした平等な社会は、女性だけでなく男性にとっても、さらにはLGBTQといった性的な少数者にとっても暮らしやすい社会であるはずで

英語で
学ぶ!

gender …性, ジェンダー equality …平等
childcare leave …育児休暇 maternity leave …産休 (産前・産後休暇)



日本のジェンダー平等は？

世界経済フォーラム (WEF) が調査している、各国の男女格差の大きさを測る「ジェンダー・ギャップ指数」によると、日本の2020年の順位は世界153カ国中121位でした。これは前年の110位から大きく順位を落とし、過去最低の順位でした。



2019年に日本で開催されたWPL (女性政治指導者) サミット (写真: 衆議院事務局)

日本は教育、健康の分野では男女の格差は小さいですが、企業の幹部などの男女の割合を比べた経済の分野、政治家などの男女の割合を比べた政治の分野では、男女の格差が大きいままになっています。

ジェンダー平等を実現するという点では、世界から見て大きく遅れている日本。社会の中で男性、女性が平等であるために、日本が解決しなければならない問題は、まだまだたくさんあるのです。



地域の取り組み

就業面でのジェンダー平等を —ウーマンワークカフェ北九州—

就業面でのジェンダー平等を実現するためには、出産や子育てでキャリアを中断したものの、もう一度働きたいと思っている女性やキャリアの充実を目指す女性を十分に支援していく必要があります。

北九州市では、女性の就職やキャリアアップ、創業、育児との両立などについて総合的な支援を行う「ウーマンワークカフェ北九州」を、2016年5月にオープンしました。この施設は、国・県・市が連携して女性の就業支援を行う、全国でも初めての施設です。一人一人の女性が望む形で意欲や能力が発揮できる社会の実現を目指しています。



ウーマンワークカフェ北九州での相談の様子



webでくわしく

考えてみよう

- ① ジェンダーギャップ解消のために、北九州市では、どのような取り組みが行われているのでしょうか。また、世界では、どのような取り組みが行われているか調べてみよう。
- ② ①で調べた中であなたが一番大事だと感じたものをその理由と一緒にまとめてみよう。



安全な水とトイレを世界中に CLEAN WATER AND SANITATION

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

安全に管理された飲み水を
使うことができない人

安全に管理されたトイレを
使うことができない人



安全に管理された飲み水：
自宅にあり、必要なときに入手でき、排泄物や化学物質によって汚染されていない、改善された水源から得られる飲み水。

世界の人口
約78億人と
くらべてみよう



安全に管理されたトイレ：
排泄物が他と接触しないように分けられているか、別の場所で安全で衛生的に処理される設備を備えていて、他の世帯と共有していないトイレ。

[Progress on household drinking water, sanitation and hygiene, 2000-2017 (WHO Unicef)] より作成



生命のみなもと「水」

蛇口をひねるとすぐに安全な飲み水が出る水道、学校や公園などに整備された清潔なトイレ。

日本には、安全で衛生的に水を利用できる環境が整っていますが、実はこのような国は世界でも数えるほどしかありません。世界には、安全に管理された飲み水を使えない人は約22億人、安全に管理されたトイレを使えない人は約42億人もいます。衛生的に処理されていない水は健康にも影響を与え、汚れた水を飲んで下痢になり、命を落とす5歳未満の子どもの死亡数は、毎年36万人にもなります。そして、汚れた水や不衛生なトイレは、コレラや赤痢などの感染症の原因にも関係しています。

水は、飲み水やトイレ、お風呂などの生活以外にも、農業や畜産業、工場でもたくさん使われていて、例えば、1kgの牛肉を生産するのに、およそ2万Lもの水が必要とされています。私たちが生きていくためになくてはならない水ですが、地球温暖化や人口の増加、経済の発展などの影響で不足し、2030年までに7億人もの人が、水不足で住む場所を追われるという予想もあります。こうした問題を解決するために、途上国では安全な水と衛生環境の確保、先進国には、限りある水資源を守るための水源林の保全など、さまざまな取り組みが求められます。

英語で
学ぶ!

clean…清潔な water…水 toilet…トイレ
water supply and sewerage system…水道(上下水道)



地域の取り組み

国内外に貢献する上下水道の推進(カンボジアへの支援)

カンボジアの首都プノンペンでは、1993年には水道普及率は25%にすぎず、漏水や盗水で浄水場から配水するのに料金が徴収できない割合(無収水量率)は72%という厳しい状況にありました。

そこで、北九州市上下水道局は、1999年、プノンペンの水道会社に対し、技術支援を始めました。主に漏水を遠隔管理できる機器の導入を提案しながら、水道の管理方法を公社の職員に教えていきました。その支援が実り、プノンペン水道公社では、24時間の給水と低い漏水率、直接飲むことのできる安全な水質、そして安定的な料金徴収体制を実現しました。水道普及率は現在では90%を超え、無収水量率も8%に激減しました。



北九州市上下水道局による技術指導の様子

webでくわしく



地域の取り組み

世界中に豊かで快適な生活文化を届ける「TOTO」

水まわり商品を提供する企業であるTOTOの社は、北九州市小倉北区にあります。

TOTOは豊かで快適な生活文化の提供を理念とし、「水資源の枯渇」という地球規模の課題に対応していく責任があると考え、節水便器など、節水性能が高く快適に使用できる商品の開発と普及に取り組んでいます。便器の洗浄には、1970年代半ばまでは1回あたり20Lの水が必要でしたが、2012年には3.8Lの洗浄水量を実現しました。これらの節水商品を、日本や中国をはじめとするアジアやアメリカなど、世界のさまざまな地域に普及させることで、限りある水資源を守り、未来につないでいこうとしています。

また、環境保全や衛生的で快適な生活環境づくりを行っている団体の活動を支援する「TOTO水環境基金」などを通じ、地域社会の課題解決や持続的な発展に取り組んでいます。



便器に手作業で色をぬっている様子



「TOTO水環境基金」助成先団体がつくったパキスタンの水汲み場

考えて
みよう

- ①世界の人々が安全な水を使用できるように、日本がどんな貢献をしているか調べてみよう。
- ②現在の安全な水に恵まれた生活を無理なく続けていくために、どのようなことができるか考えてみよう。



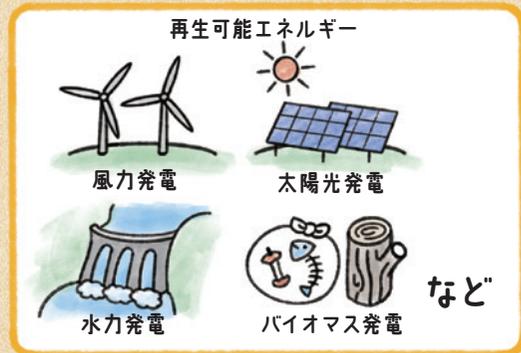
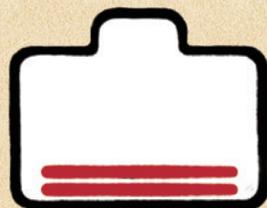
エネルギーをみんなに そしてクリーンに

AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

世界の最終エネルギー消費に おける再生可能エネルギーの割合 (2018)

17.9%



[Renewables 2020 Global Status Report (REN21)] より作成



電気を使えない人は7.9億人も

電気やガスなど私たちの生活に欠かせないエネルギー。しかし、世界ではいまだに約7.9億人が電気を利用できずにいます。また、薪や炭、動物の排泄物を燃やして、調理や暖房に使う人もいて、その数は約28億人ともいわれています。こうした人たちは、煙で汚れた空気健康をそこなってしまうだけでなく、明かりがないために、十分な仕事や勉強をすることもできません。

一方、エネルギーは地球温暖化とも密接に関係しています。現在のエネルギーは、石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料から生み出されたエネルギーが中心です。化石燃料はエネルギーを生み出すときに大量の二酸化炭素を大気中に放出するため、それが地球温暖化の原因になっていることを忘れてはいけません。そして、これからは世界人口の増加や新興国や途上国の経済発展に伴い、エネルギーの消費がますます増えると考えられています。

増え続ける需要を満たしながら、将来にわたって安定的にエネルギーを利用していくためには、太陽光や風力など、自然の力を使い、環境に負担をかけない再生可能エネルギーを今よりもっと増やすことが必要です。そして、私たちには、一人一人がエネルギーの利用を見直し、無駄をなくすための取り組みが求められています。

英語で
学ぶ!

affordable…安価な、手頃な renewable energy…再生可能エネルギー
clean energy…クリーンエネルギー solar power…太陽光発電

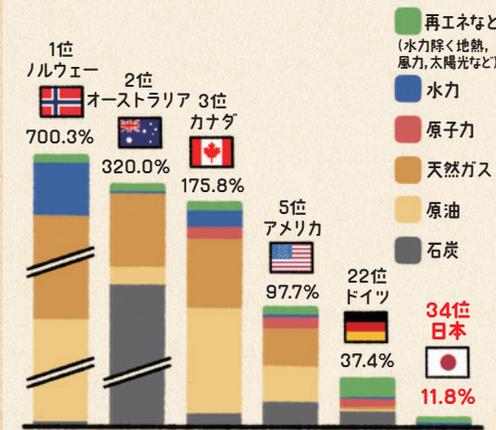


資源が少ない日本のエネルギー

国内で必要なエネルギーのうち、自国の資源でつづけている割合を「エネルギー自給率」といいますが、日本はわずか11.8%で、エネルギーの元となる資源のほとんどを海外からの輸入に頼っています。また、エネルギーをつくる時に、二酸化炭素を排出する石油や石炭の利用もまだ続いています。

太陽光や風力といった再生可能エネルギーは、二酸化炭素を排出しないだけでなく、全国各地にある自然の力を使い、資源を海外からの輸入に頼らなくてもよいエネルギーです。資源が少ない日本にとって再生可能エネルギーの割合を増やすことは、環境への負担を減らすだけでなく、エネルギー自給率を高めることにもつながるのです。

世界と日本のエネルギー自給率(2018)



[World Energy Balances 2019 (IEA)], 「総合エネルギー統計 2018 (資源エネルギー庁)」より作成



地域の取り組み

再生可能エネルギーの普及を目指して

— 響灘地区「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」 —

北九州市では、地域を支える観点から、二酸化炭素の排出が少なく、安定・安価なエネルギーの供給を行うために、「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」に取り組み、最先端のエネルギーモデルの構築を図ることを目指しています。

これまでの取り組みとして、響灘地区には風力発電所や太陽光発電所などの再生可能エネルギーを供給する事業所が集積しています。さらに、港湾区域の洋上風力発電なども進めています。

また、この事業の一環として、北九州市と地元企業、金融機関など8社の出資により、地域エネルギー会社「北九州パワー」が2015年に設立されました。「北九州パワー」は、市内で発生したごみの焼却処理の際に発生する熱を利用して発電された電力を、市内の公共施設や事業所に供給しています。このことにより、エネルギーの地産地消や循環型社会への貢献を目指しています。



響灘の洋上風力発電 (写真: NEDO)

webでくわしく



北九州市地域エネルギー拠点化推進事業

考えて
みよう

- 再生可能エネルギーについて、1つ調べ、長所と短所を挙げてみよう。
- ①で挙げたエネルギーの利用を進めるには、どうすればよいか考えてみよう。



働きがいも 経済成長も DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

世界の失業者の数



約1.9億人

※労働人口の
5.4%



このうち、15~24歳の若者は
6,800万人

※労働人口とは、15~64歳の成人のうち、働く意思と能力を持った人のことをいいます。

[World Employment and Social Outlook: Trends 2020 (ILO)] より作成



人間らしい働き方って？

働くことは収入を得るための手段であると同時に、社会と関わりながら豊かな人生を送るための大切な要素です。十分な収入が得られ、働く人の権利が守られた仕事は、一人一人の暮らしにつながるだけでなく、よりよい仕事の成果を生み、経済の成長にもつながっていきます。

しかし、世界には、仕事がない人が約1.9億人、そのうち、若者は約6,800万人もいます。また、17歳未満の子どもの10人に1人が、教育を受けずに大人と同じように働いていて、彼らの多くは、安い賃金で、働く条件も悪い環境にいます。そして、先進国でも、女性や障害者、移民など社会的に弱い立場にある人が賃金などの働く条件が厳しかったり、賃金面では安定した仕事であっても長時間働かなくてはならなかったりということが少なくありません。

こうした一人一人の働く環境を改善していくためには、経済を成長させていくことも重要です。経済が成長した分のお金は、誰かが独占するのではなく、賃金の向上や、医療体制、上下水道、道路の整備などの人々の生活の向上につながるように適切に使われなければなりません。

希望するすべての人に十分な収入と働きがいのある仕事が与えられ、持続可能な経済成長の仕組みをつくるのが、目標8では求められています。

英語で
学ぶ!

decent…適切な economic growth…経済成長
child labor…児童労働 long work hours…長時間労働



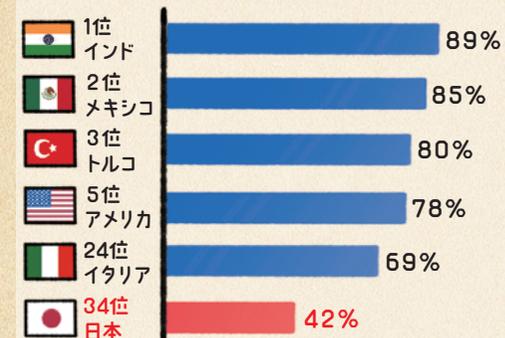
日本の働き方は？

「長時間働くのがよい」というムードがこれまであった日本。長い時間働いているにもかかわらず、賃金や生活が向上せず、働く人の不満につながってしまうことも。その結果、「過労死」や「ブラック企業」などが大きな問題となっています。

そこで、国をあげて取り組んでいるのが「働き方改革」です。ICTやテクノロジーの活用、さまざまな制度づくりで、働く人が短い時間で仕事の成果を出したり、残業を減らしたりできるような「働きやすい環境」を整えています。

誰もがやりがいを持てる働き方は、どのようなものでしょうか。身の回りの大人はどのような働き方をしているのでしょうか。ぜひ、家族や友だちと話し合ってみましょう。

現在の仕事に満足している人(2019年12月)



34の国と地域で実施した「Randstad Workmonitor global report」より作成



地域の取り組み

「働きやすいまち北九州」への取り組み

誰もが仕事と家庭生活を両立し、成長していける社会を築くことが、私たちには求められています。

北九州市では、働き方の見直しに積極的に取り組む企業や個人を表彰することで、その熱意や努力を多くの市民に知ってもらい、取り組みを広げるために、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰」を実施しています。

また、「働きやすいまち北九州」を目指し、2017年に企業・団体のトップによる「北九州イクボス同盟」を設立しました。部下の生活と仕事を支援し、仕事の成果も上げつつ自らも人生を楽しむ「イクボス」が連携し、生産性の向上や多様な働き方を推進しています。

※イクボス…部下や社会、組織を育(イク)てる上司(ボス)



株式会社デンソー九州：自動車産業において女性活躍や働き方改革を推進し、平成30年度に市長賞を受賞

webでくわしく



考えてみよう

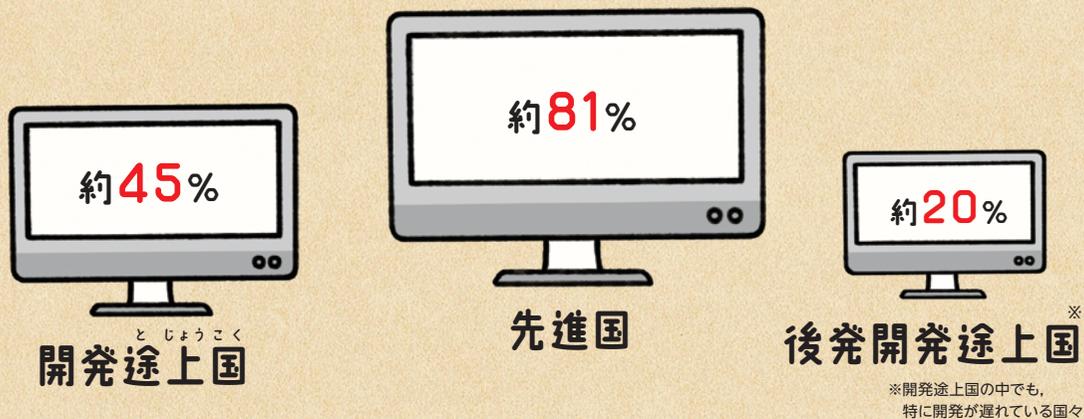
- ① やりがいのある働き方とは、どのような働き方なのか考えてみよう。また、経済(職場の業績)を成長させるために、必要となる要素は何か考えてみよう。
- ② ①で考えたことをもとに、健全な働き方と職場の業績を高めることは、どのようにすれば両立できるか考えてみよう。



産業と技術革新の基盤をつくらう INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

強靱(レジリエント)なインフラ構築, 包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

世界でインターネットが使われている割合 (2018年)



[Measuring the Information Society Report 2018 (ITU)]より作成



世界が豊かに発展していくために

電気や水道, 道路や鉄道など, 私たちの暮らしや産業を支える設備のことを「インフラ」といいます。電気がなければ勉強もできず, 下水道がなければ水が汚れて, 病気にかかりやすくなります。また, インフラは, 農業や工業など, 産業の発展にも欠かせません。目標9は, 誰もが安く安全に使え, 災害にも強いインフラを整え, 暮らしや経済成長を支えることを目指しています。

近年は特に, 携帯電話やインターネットなど, 情報インフラが急速に普及し, 世界人口の約9割が携帯電話回線のある場所で暮らす社会になりました。その結果, モノがインターネットにつながるIoTやAI, ロボットなどの新しい技術が生まれました。今後, こうした技術を組み合わせ, あらゆる産業や社会生活に取り入れることで, さまざまな社会課題を解決していく「イノベーション(技術革新)」が進むといわれ, 日本ではそのような社会を「Society 5.0」とよんでいます。

しかし, 後発開発途上国では, インターネットを2割の人しか使えませんし, 先進国でも地域によって情報インフラに差があります。さらに, サイバー攻撃への対応や新しいルール設計など, 技術革新がもたらす新たな課題もあります。最新の技術を安全で快適な生活につなげるためには, これらの課題を解決していく必要があります。

英語で
学ぶ!

industrial…産業の innovation…イノベーション, 革新
infrastructure…インフラ Internet…インターネット



地域の取り組み

「ロボットのまち」への変貌 —北九州学術研究都市—

北九州学術研究都市は, 「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し, 理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという独自の試みとして, 2001年にオープンしました。現在では, AIやロボットなどの先端的な科学技術に関する教育研究活動が行われ, アジアを中心とした多くの外国人留学生や研究者が在籍しています。



ロボットは, 「ものづくりのまち・北九州」の未来を支える産業の要として, 市内の大学と企業が連携し, 新しいロボットの創出に向けた研究開発に取り組んでいます。産業用ロボットなどを活用し, 市内製造業の生産性向上を支援するほか, 食品や介護・福祉といったさまざまな分野にも展開するなど, 北九州市は今, 「ロボットのまち」へと大きな変貌をとげようとしています。

webでくわしく



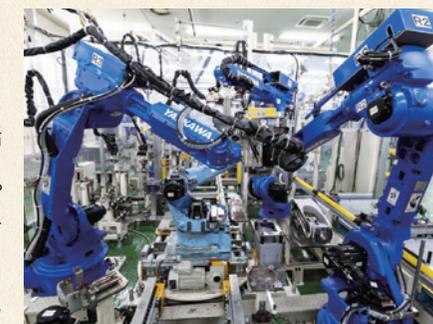
地域の取り組み

世界に誇る技術革新

—安川電機—

北九州市においても, Society 5.0に対応した先端的な技術で世界を牽引する企業や研究機関があります。

八幡西区に本社のある安川電機では, 「事業の遂行を通じて, 広く社会の発展, 人類の福祉に貢献する」という企業理念の下, さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。例えば, 危険が伴う工場での作業を,



安川電機の産業用ロボット

人間が行うのではなく産業用ロボットに任せる「工場の自動化」を世界に先駆けて進め, 安全性を担保しつつ生産性の向上を図っています。

このような安川電機の技術は, 世界トップクラスとなっており, 日本だけでなくさまざまな国のものづくりの品質と効率の向上に貢献しています。

webでくわしく



考えて
みよう

- ① Society 5.0に関係する先端技術を1つ調べ, その先端技術を使って解決したいことを考えてみよう。
- ② ロボット技術やAIの進展が進む社会の中で, これら技術革新とどのように関わっていけばよいか考えてみよう。



人や国の不平等をなくそう REDUCED INEQUALITIES

各国内及び各国間の不平等を是正する

※女性差別, 人種差別, 障害者差別など
国際人権法の下に禁止された差別を経験した割合 (2020)

10人に2人

世界の人口約78億人のうち約15.6億人



[Why it matters: Reduced Inequalities (UN)] より作成



いろいろな不平等

世界の不平等をなくすことは、「誰一人取り残さない」社会をつくるSDGsの基本となる考えです。しかし、世界には、年齢や性別、障害の有無、国籍や宗教、出自などによって、いわれのない差別や偏見に苦しんでいる人がいます。そして、こうした人たちの中には、多くの人が参加している社会の仕組みに参加すらできずにいる人もいます。

国と国の間、または同じ国や地域の中で暮らす人の間で、貧富の格差があることも大きな問題です。世界の人口は約78億人ですが、そのうち、最も裕福な2,000人が、46億人の人が持つよりも多くの富を持つような、極端な格差が生まれています。ほんのひと握りのエリートやお金持ちに世界の富が集中することで、貧しい人はいつまでたっても貧しいままになっています。このような経済的な不平等を減らし、豊かさをみんなで分け合い、貧しい人たちが収入を増やしていける仕組みをつくらなければなりません。

世界から不平等をなくすことは、貧困や飢餓、紛争など、SDGsのほかの問題を解決することにもつながります。世界中を人々が自由に行き来する時代だからこそ、さまざまな不平等をなくし、多様な人が活躍できる社会をつくることが求められています。

英語で学ぶ!

reduce…減らす inequality…不平等
billionaire…超富裕層 respect human rights…人権を尊重する



私たちにできることは?

さまざまな不平等や差別はどのようにして起きるのでしょうか? 私たちの間には、国籍や人種、言葉や宗教、慣習、肌や髪の色など、さまざまな違いがあります。

このほかにも、性別、障害の有無、年齢、生まれた地域、そして考え方や趣味の違いなど、お互いが違うことはたくさんあります。こうした違いは、どちらかが優れているということでは決してありません。違いがあるからこそ学び合い、その結果、多様な文化や新しい発見が生まれるのです。

さまざまな不平等を減らすには、一人一人が違うことを知り、違いがあるのが当然だと理解すること。そして、お互いの違いを認め、相手を大事にする気持ちが、何よりも大切になってきます。



2017年に国連で開催された、障害者の権利に関する会議 (写真: Kim Houghto / UN Photo)



地域の取り組み

人権文化のまちづくり

—人権啓発動画の配信を通して—

北九州市では、「人権文化のまちづくり」として市民一人一人が当たり前の行動として人権を尊重することができるまちを目指しています。この取り組みの一環として、人権啓発映画や人権啓発動画の制作・配信を行っています。2013年制作の発達障害をテーマとした『秋桜の咲く日』は、法務省主催「平成26年度人権啓発資料法務大臣表彰映像作品部門」での優秀賞をはじめ、国内の映像コンテストで3つの賞を受賞するなど高い評価を受けています。2015年には、「同和問題」「若年性認知症」「LGBT」をテーマとした『光射す空へ』を制作しました。また、新型コロナウイルス感染症に関連して、不安や偏見による誹謗中傷やいじめの防止を目的に、啓発動画を制作し、配信しています。この動画では、本市の中学生が声優を担当しています。



北九州市人権の約束事運動マスコットキャラクター「モモマルくん」

webでくわしく



YouTubeチャンネル
北九州市教育委員会



人権啓発映画
「光射す空へ」

考えてみよう

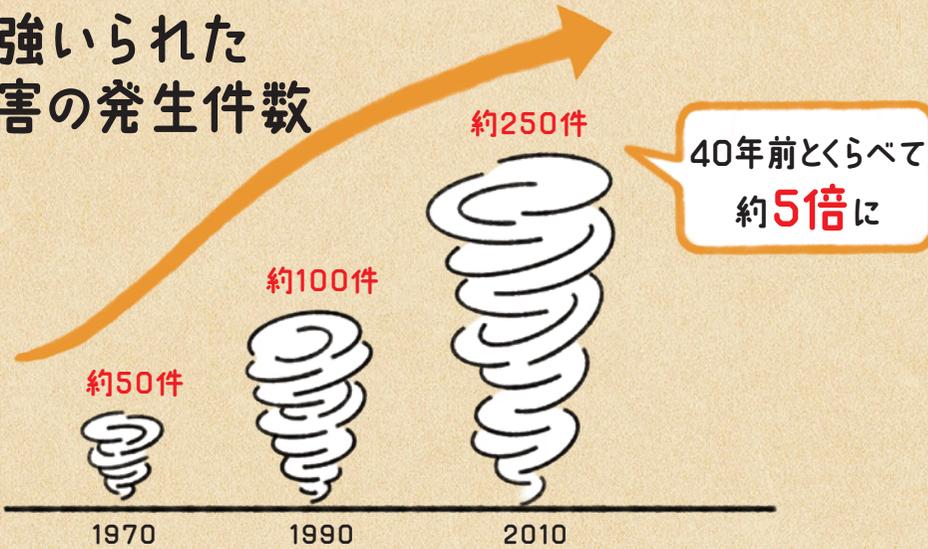
上の動画を見て、日頃からどのようなことに気を付けて生活をしたらよいか考えてみよう。



住み続けられるまちづくりを SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

移住を強いられた 自然災害の発生件数



[Unless we act now: The impact of climate change on children (Unicef)] より作成



社会の中心となる都市の暮らし

学校や役所、交通や銀行、娯楽や商業施設などがそろう、たくさんの人が暮らす都市は文化や経済の中心です。現在、世界の人口の約55%が都市で暮らしていて、2050年には約70%が都市で暮らすようになると予想されています。

便利で快適な都市の暮らしですが、多くの人が都市に集まることで、大量のエネルギー消費、住宅不足による住居費の高騰、交通渋滞や自動車の排気ガスによる大気汚染、大量のごみ問題など、都市ならではの問題がどんどん大きくなっています。また、海外では、「スラム」と呼ばれる貧しい人が暮らす地域が都市周辺に広がっており、犯罪が生まれる原因の一つになってしまっています。そして、近年では、巨大な台風や集中豪雨、地震など、都市に深刻な影響を与える自然災害が増加し、そこで暮らす人々が避難を強いられることも少なくありません。

これからの都市には、自然災害に強く、女性や子ども、障害者、高齢者など、誰もが安全で快適に暮らすことができ、環境に負荷をかけずに将来にわたって住み続けられるための工夫が求められます。そして、地域に残る伝統や文化、歴史的な遺産を守り、そこで暮らす人たちが誇りを持ってまちづくりに参加できる仕組みをつくっていくことも大切です。

英語で
学ぶ!

natural disaster…自然災害 disaster risk reduction…防災
world heritage…世界遺産 take refuge…避難する



地域の取り組み

災害に強いまちづくり —北九州市の防災対策—

北九州市では、市街地の浸水被害対策として、雨水を一時的に地下にためる施設の整備や川幅を広げるなどの河川の整備を行い、災害に強いまちづくりを進めています。

また、災害発生前の備えとして、安全・安心に関する情報の提供に努めています。例えば、防災に特化した市のホームページ「防災情報 北九州」では、早めの避難行動のために、ハザードマップや主な河川の水位観測情報・河川監視カメラ画像を公開しています。防災アプリ「ハザードン」では、気象情報や開設避難所など、いち早く災害に関する情報を知ることができます。

そのほか、緊急速報メールなどの配信、津波情報などを知らせるための防災スピーカーを整備しています。



桜町北湊雨水貯留管(若松区)

webでくわしく



地域の取り組み

伝統・文化が残るまち北九州 —北九州市の文化遺産—

北九州市には、国際機関や国に登録・認定されている価値ある文化遺産が多くあります。

「官営八幡製鐵所の創業期の建物」は、2015年に世界文化遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産となっています。また、戸畑祇園大山笠行事を構成行事とした「山・鉾・屋台行事」が2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。

さらに、門司港駅や部埼灯台などを構成文化財とした「関門」ノスタルジック「海峡」や「砂糖文化を広めた長崎街道」のストーリーが文化庁から日本遺産に認定されています。

これらの文化遺産は、適切に保存し、後世に残していくとともに、観光への活用などまちづくりにつなげていくことも重要です。



戸畑祇園大山笠

webでくわしく



考えて
みよう

- ① 自分の校区のハザードマップを見て、災害(浸水被害、土砂災害、津波など)が発生したときに、どのような行動をしなければならないか考えてみよう。
- ② 地域の文化遺産にどのようなものがあるか調べ、それを後世に残すために私たちが何をしていくべきか考えてみよう。



つくる責任 つかう責任 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

持続可能な生産消費形態を確保する

人類全体の生活を支えるには
1.6個の地球が必要



[Working Guidebook to the National Footprint and Biocapacity Accounts (Global Footprint Network)]より作成



地球が1つでは足りない！

現在の社会は、たくさんの資源やエネルギーを使って、食品や衣料、文房具や電化製品、自動車など、暮らしに必要なさまざまな製品を大量に生産しています。そして、私たちはそれらを大量に消費して暮らしています。大量に生産して大量に消費し、いらなくなったものは使えるものであっても捨ててしまう。このような暮らしを続けていては、地球がいくつあっても足りません。

1970年代以降、人間が1年間暮らしていくために消費する資源の量は、地球の生態系が1年間に生み出すことができる量を超過する状態が続いていて、現在、人類全体の生活を支えるには、地球が1.6個必要です。つまり、私たちの今の暮らしは、未来の資源やエネルギーを先に使ってしまふことによって成り立っているのです。その結果、気候変動、漁業資源の枯渇、森林消失など、今日の大きな環境問題が生じています。

これらの問題を解決するために、環境に負担の少ない方法でつくられた製品を選ぶこと、ごみや食べ物の無駄をなくすこと、再利用やリサイクルを徹底することなど、私たち消費者にもできることがたくさんあります。そして、国や企業には、資源やエネルギーの無駄を減らすこと、効率よく資源を利用するための技術革新を進めることなどが求められています。

英語で
学ぶ！

consumption…消費 production…生産
responsible…責任のある natural resource…天然資源



地域の取り組み

みんなで取り組む3R —北九州市3R活動推進—

北九州市では、廃棄物の発生抑制 (Reduce)・再利用 (Reuse)・再生利用 (Recycle) の3R (スリーアール) 活動を推進する一環として、個人・団体・事業者・学校などで積極的に行っている3R活動を自薦・他薦を問わず募集して表彰する「北九州市3R活動推進表彰」を実施しています。



尾倉中学校の生徒による不要物回収

第11回北九州市3R活動推進表彰(2019年)では、北九州市立尾倉中学校の生徒会執行部が主体となり活動した、歯ブラシ・牛乳パック・古着などの回収の実施や、不要になった文房具や雑貨を回収したものをミャンマーに発送し活用してもらい取り組みで3R活動推進賞を受賞しました。



地域の取り組み

ごみゼロ社会を目指して —北九州エコタウン事業—

エコタウン事業とは、最終的に廃棄物をゼロにすることを目指し、循環型社会をつくる取り組みです。北九州市では、環境保全と産業振興を統合した独自の政策である「北九州エコタウン事業」を推進しています。若松区響灘地区を中心にリサイクル産業が集積し、事業数は25と全国のエコタウンの中で最大規模を誇っています。



西日本オートリサイクル株式会社の工場

エコタウンにある事業所の一つ、西日本オートリサイクル株式会社では、使用済みの車を再び車に生まれ変わらせる「Car to Car」型のリサイクルに取り組んでいます。使用済み自動車を解体するとき発生し、海洋汚染のおそれもある「破碎くず」を発生させない「全部利用方式」を独自に開発し、99%のリサイクル実行率を可能にしています。

webでくわしく



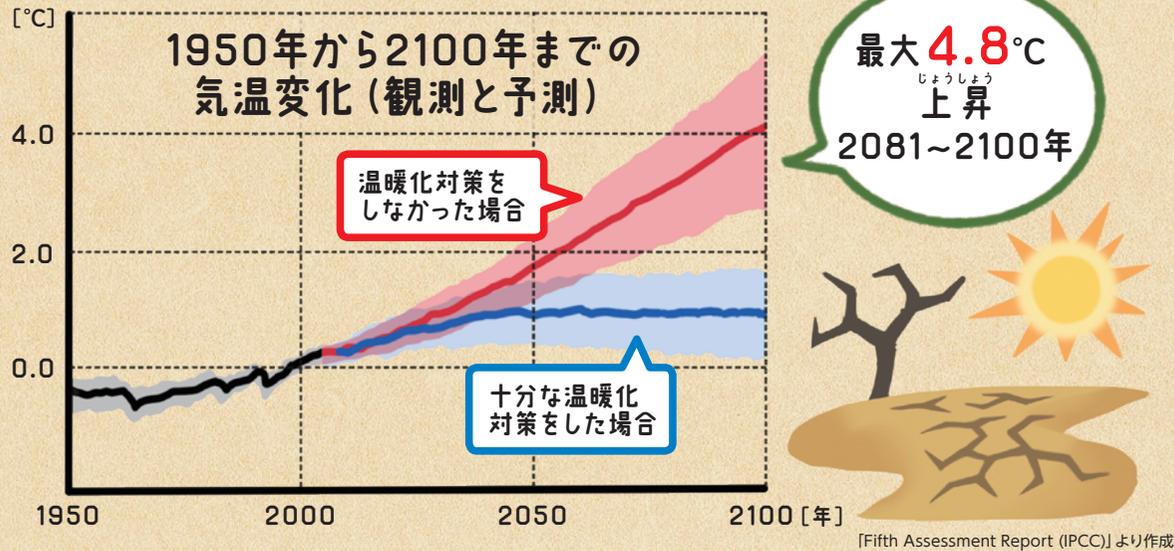
考えて
みよう

生活の中で、リユース(再利用) やリサイクル(再生利用) できるものにはどのようなものがあるか調べ、取り組んでみたいことを考えてみよう。



気候変動に具体的な対策を CLIMATE ACTION

気候変動^{およ}及びその影響^{えいぎょう}を軽減^{きんげん}するための緊急対策^{きんきゅう}を講じる



気候変動って？

熱波や干ばつ、森林火災など、大規模な自然災害が世界中で起こっています。日本でも、巨大な台風や集中的な豪雨、記録的な猛暑など、これまでにない異常気象が毎年のように観測されるようになりました。自然災害や異常気象による影響は、農業や水産業、エネルギー、道路や通信など、私たちの暮らしに関わるあらゆる分野に及びます。そして、社会的にも経済的にも貧しい暮らしをしている人たちに、より深刻な被害をもたらします。

こうした気候変動の原因が地球温暖化です。社会の工業化が進むにつれ、人類は化石燃料を大量に消費し、大気中に二酸化炭素を放出してきました。そして、この二酸化炭素が地球を覆うことで地球表面の温度が上がり、温暖化が進行してしまいました。つまり、気候変動は、私たち人類が引き起こした問題ということができます。

これ以上の地球温暖化を止めるには、二酸化炭素の排出量を減らしていかなければなりません。2015年のパリ協定で、世界の国々は二酸化炭素などの温室効果ガスを減らすことに合意しました。先進国は自らの生活や行動を見直すとともに、これから経済発展をとげる途上国に対し、二酸化炭素を減らすための技術や資金を支援し、すべての国が一つになって取り組む必要があります。

英語で
学ぶ!

climate…気候 climate change…気候変動
global warming…地球温暖化 carbon dioxide…二酸化炭素



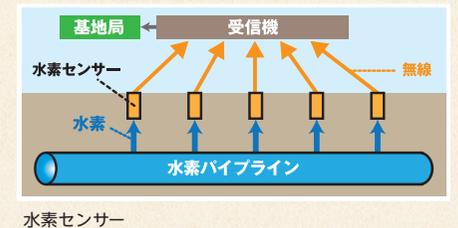
地域の取り組み

水素エネルギーの実用化を目指して —北九州水素タウン—

水素は利用段階で二酸化炭素を排出しない、クリーンなエネルギーとして注目されています。北九州市では、水素エネルギーの実用化に向け、八幡東区東田地区に「北九州水素タウン」をつくり、水素技術の実証に取り組んでいます。



世界でも類を見ない、まちなかを走る1.2kmのパイプラインを通して、公共施設などへ水素を供給したり、水素でさまざまなビジネスを考える企業に、新たな技術開発支援を行ったりしています。また、市役所では、水素を燃料として走行する燃料電池自動車（FCV）を導入し、業務で利用するほか、イベントでのPR活動に活用しています。



地域の取り組み

二酸化炭素の排出を減らすまちづくり

—「みんなの未来区 BONJONO(ボン・ジョーノ)—

小倉北区に位置する「BONJONO」は、北九州市、国、UR都市機構の3者が連携し、区画整理事業によって生まれたまちです。太陽光発電など、さまざまな技術や方策を取り入れて、二酸化炭素の排出量の大幅な削減を目指す「ゼロ・カーボン」、子育て世代や高齢者など、多様な世代が暮らしやすい「子育て支援・高齢者対応」、まちなみや緑の維持など、将来にわたって住み続けられる「持続可能なまち」の3つの視点でまちづくりが行われています。



環境にやさしい暮らしや活動を楽しみながら、住民、地域、事業者が一体になって、まちづくりに取り組み、各地域から視察に来るなど全国から注目を集めています。

webでくわしく



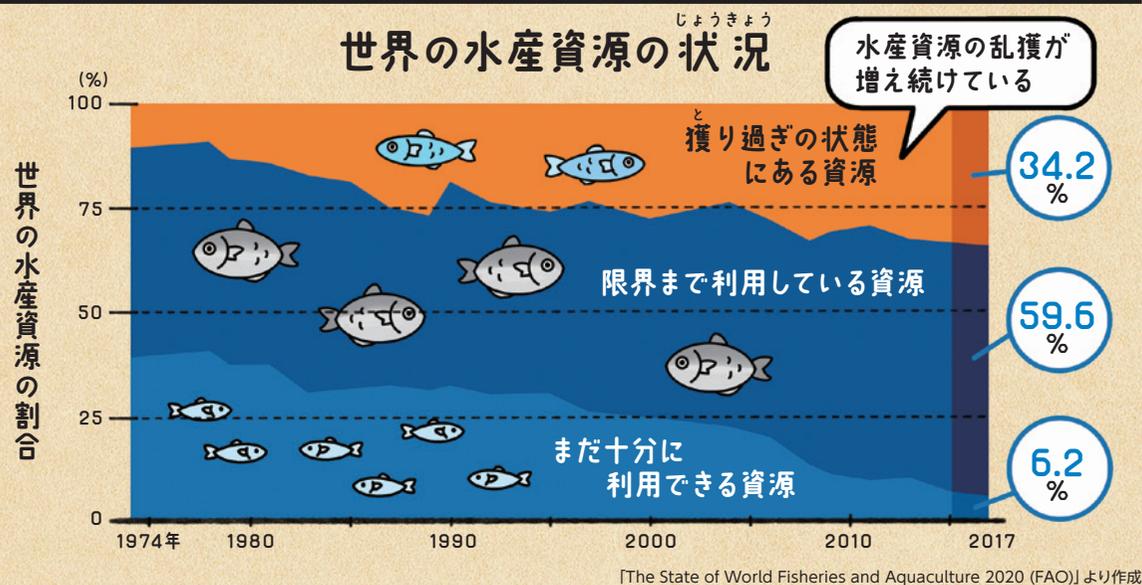
考えて
みよう

- ① 温室効果ガスである二酸化炭素を増やさないようにするには、どのような方法があるか考えてみよう。
- ② ①で考えた中で、私たちが身近にできることを考え、周りの人と意見を交換してみよう。



海の豊かさを守ろう LIFE BELOW WATER

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



水産資源の乱獲が増え続けている

獲り過ぎの状態にある資源

限界まで利用している資源

まだ十分に利用できる資源

34.2%

59.6%

6.2%



海はすべての生命のみなもと

マグロやウナギ、サンマなどの魚が食べられなくなるとしたら、どう思いますか？

地球の面積の7割を占める海。この豊かな海は、地球のあらゆる命のみなもとです。しかし、今、その海が深刻な問題を抱えています。ひとつは、世界の魚の資源がとても危険な状況にあること。世界の人口が増え、魚を食べたいと思う人も増えた結果、魚を獲る量が増えています。ルールを守らずに魚を獲る人も後を絶たず、魚の獲り過ぎが大きな問題となっています。その結果、世界の水産資源のうち、まだ十分に利用できる資源はたったの6.2%になってしまいました。

そして、海のプラスチックごみも大きな問題です。世界中の海には毎年800万トンものプラスチックごみが新たに流れ込んでいると推定されており、2050年には海にいる魚の重さよりもプラスチックごみの重さの方が重くなると言われています。大量のプラスチックごみは海の生態系に甚大な影響を与えていて、魚や海鳥、アザラシ、ウミガメなどの生き物が、漁網に絡まったり、プラスチックごみをエサと間違えて口にしたりすることで、傷つけられたり死んだりしています。

私たちは生きるための食べ物資源など、海から多くの恵みを受け取ってきました。これからも海とともに生きていくために、海の環境や生態系を守るための取り組みが求められています。

英語で
学ぶ!

marine resource…海洋資源 marine pollution…海洋汚染
plastic debris…プラスチックごみ conserve…保護する, 保全する



海洋ごみの削減に向けた日本の取り組み

2019年のG20大阪サミットで、議長国である日本が主導した「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が、G20の各国で共有されました。これは、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにすることを目指しています。

また、日本はこのビジョンの実現に向けた独自の取り組みとして「マリーン・イニシアティブ」の立ち上げも行いました。これは、主に途上国における廃棄物を減らすことを目的として、①廃棄物の管理、②海洋ごみの回収、③イノベーション（技術革新）、④能力強化を支援するものです。世界での能力構築や人材の育成も約束しており、今後、このイニシアティブの効果が表れることが期待されています。



2019年のG20大阪サミットの様子 (写真: 首相官邸ホームページ)



地域の取り組み

ふるさとの曾根干潟を守ろう —曾根干潟クリーン作戦—

曾根干潟は、小倉南区の曾根新田の海側に広がる517ヘクタールの干潟で、生きた化石と言われるカブトガニや絶滅危惧種であるズグロカモメを観察できる自然の宝庫です。また、カキ養殖、刺し網、定置網などの漁業が営まれ、人々の生活の場としても重要な干潟です。

しかし、ペットボトルなどのごみが散乱している状況にもありました。



曾根東小学校の児童らによるごみ拾いの様子

このような中、曾根干潟にすむ生き物や自然環境を守りたいという思いから、「ふるさとの曾根干潟を守ろう」というスローガンのもと、北九州市立曾根東小学校や地域住民、多くの企業が連携し、循環型社会の実現に向けた、曾根干潟クリーン作戦などの活動が実施されています。

webでくわしく



考えて
みよう

- ① プラスチックが海に流れ込んでいる原因(理由)について調べてみよう。
- ② 海の環境を守っていくために、海岸のごみ拾いのほかに、私たちにできることは何か考えてみよう。



陸の豊かさも守ろう LIFE ON LAND

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

1年間に消える世界の森の面積

約**470万**ヘクタール
(九州の面積は約420万ヘクタール)



「Global Forest Resources Assessment 2020 (FAO)」より作成

絶滅のおそれのある 野生生物 (レッドリスト)

約**3万2,000**種



「IUCN Red List of Threatened Species (IUCN, 2020年11月現在)」より作成



森と生き物を守る

山や川、森林などの自然、そこで暮らすさまざまな生き物たち。陸上にあるこれら自然の生態系は、食料や水、木材、薬品、燃料など、私たち人間にたくさんの恵みを与えてくれています。しかし、こうした恵みは無尽蔵にあるわけではありません。

私たち人間の暮らしが豊かになるにつれて、陸上の多様な自然環境がどんどん破壊されてしまいました。例えば、世界の陸地面積の3割を占める森林は、1年間に約470万ヘクタール以上のペースで失われています。これには、生態系を無視した無計画な開発や、地球温暖化による気候変動の影響など、人間が関わっているものが少なくありません。森林は多様な生き物が暮らす場所というだけでなく、酸素や土をつくり、水を蓄える役割なども果たしており、一度なくなると元に戻すまでに長い年月が必要です。そして、こうした自然破壊の影響で、生き物たちのすみかがうばわれ、約3万2,000種もの野生生物が絶滅の危機にあります。

私たち人間は自然の豊かな恵みを受け取って生きてきました。これからも、その豊かな恵みを受け取り続けていくために、自然環境や生態系を守り、自然と共に生きるための新しいあり方を考えていかなければなりません。

英語で
学ぶ!

forest…森林

wildlife…野生生物



日本の森が危ない!

国土の約7割を森林が占める日本。日本人は、昔から、身の回りにある豊かな森林から、木材や水、食料など、さまざまな恵みを得て暮らしてきました。

しかし、現在では、外国からの木材輸入が増えたり、森林を管理する人が減ったりしたことで、日本の森林の多くが荒れてしまうことが課題とされています。荒れた森林からは、良質な木材がとれないだけでなく、生き物もすみにくく、水を蓄える機能もなくなり、大雨のときには洪水や土砂くずれを引き起こし、甚大な被害をもたらします。

日本の森林に豊かな機能を取り戻すためには、人の手による正しい手入れが必要です。そのためにも、木の良さを見直して、木を適切に使う暮らしを心がけていかなければなりません。



日本の豊かな森林



地域の取り組み

未来へつなぐ森づくり —山田緑地「30世紀の森」づくり—

小倉北区の南西部に位置するおよそ140ヘクタールの広域公園、山田緑地は、「30世紀の森」づくりをテーマに、森を守り、育て、学びながら、未来の人たちに自然保護の大切さを伝えることを目指して整備をしています。

森を私たちとさまざまな生き物たちが共に生きることを考える場として、森の自然に触れ、体験しながら観察することができる「利用区域」と、自然環境の保護を優先する「保護・保全区域」に分け、公園の維持管理、運営を進めています。

それぞれの区域が役割と機能を果たすことで、「30世紀の森」づくりをテーマとする森づくりと利用の調和がとれた公園として、レクリエーションや環境教育の場となっています。



山田緑地での粗染づくりの様子

webでくわしく



考えてみよう

- ① 近くの森や林がなくなったら、どんな生物がいなくなるか考えてみよう。
- ② 森林を守るために必要なことをまとめ、その中で私たちにできることにはどのようなことがあるか考えてみよう。



平和と公正をすべての人に

PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

紛争の影響がある国や地域で暮らす子どもたち

約2億4,600万人



「世界の子どもたちを取り巻く最新ファクト（日本ユニセフ、2020年10月現在）」より作成



争いのない世界を目指して

世界には、今、この瞬間もどこかで紛争や戦争などの争いごとが起きています。紛争の影響を受けている国や地域で暮らす子どもたちは約2億4,600万人。そして、たくさんの人が争いごとや暴力、迫害で命をうばわれ、家族を失うなどのつらく悲しい思いをしています。家や財産をなくし、住む場所を追われる人も少なくありません。あらゆる争いごとをなくし、平和を実現すること。そのためには、法律などの公正な制度を誰もが利用できることが大切になってきます。

しかし、資金と人材の不足から「法の支配」が機能せず、紛争問題の公平で公正な解決ができていない国が世界にはあります。こうした国では、法の支配が弱く、暴力や汚職、組織犯罪やテロリズムなどの犯罪も発生し、人々の安全な生活をおびやかしています。加えて、公正な選挙も実施されず、国の制度づくりに国民の声が正しく反映されにくいので、人々の不満と不信感につながって、国の発展を大きくさまたげる要因にもなっています。

法律による公正な制度をつくり犯罪や汚職をなくすこと、誰もが政治に参加できる仕組みをつくること、そして、国民の知る権利や報道の自由を保障すること。私たちが安心して暮らし、一人一人が能力を最大限に発揮するためには、平和で公正な社会であることが必要です。

英語で
学ぶ!

justice…公正 peace…平和
right…権利 institutions…制度



私たちにできることは？

平和で公正な世界をつくるためには、「世界で今、どんなことが起きているのか」「紛争や戦争とはどのようなものなのか」を知ることがとても大切です。テレビやニュースで見かけたら調べてみたり、資料館や施設などに出かけて、紛争や戦争について考えてみたりして、家族や学校の友だち、先生と考えるのもよいでしょう。また、それらの問題解決に関係するようなイベントや募金に参加することも、遠い日本からできることの一つです。

そして、公正な社会をつくっていくために、私たちが政治に関心を持ち、積極的に政治に関わっていくことが大切です。



平和な世界を実現するには何が必要でしょうか
(写真：Melih Cevdet Tesken / Shutterstock.com)



地域の取り組み

戦争の記憶を未来につなぐために

近年、日本では、戦争に伴う悲惨な体験や生活を直接経験していない世代が多くなり、戦争の記憶の風化が懸念されています。北九州市でも、市民が戦災に遭い、戦中はもちろん戦後も過酷な生活を送っていたことが遠い過去の物語となりつつあります。

このような中で、北九州市では、長崎の原爆投下で犠牲となった林嘉代子さん（当時15歳）の慰霊と平和への願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」を市内の学校に植樹しています。

また、市民一人一人に戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを考える機会を提供するために、戦時下の市民の暮らしや戦後、復興を果たしたまちの姿を伝える展示機能などを有した施設として、2022年度中に小倉北区の勝山公園内に「(仮称)平和資料館」を設置することとしました。



「嘉代子桜・親子桜」植樹の様子



(仮称) 平和資料館 (イメージ図)

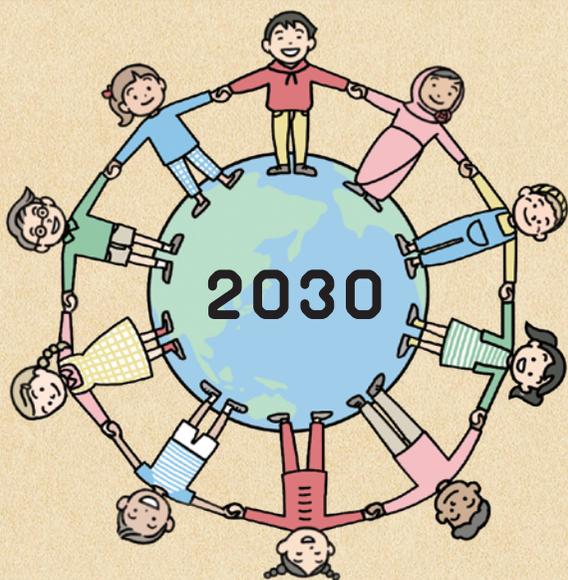
考えて
みよう

- ① 「紛争」や「戦争」はどのように起こるのか考えてみよう。
- ② 「平和で公正な社会」を実現するために私たちができることは何か考えてみよう。



パートナーシップで目標を達成しよう PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



みんなの力でSDGsを達成しよう！

目標17は、何か一つの課題を取り上げるものではありません。1から16までの目標を達成するために必要な行動や方法を強化して、世界中のあらゆる人の協力関係を活発にしていこうという目標です。特に、先進国から途上国に対するさまざまな支援、例えば、資金や技術、人材の支援や持続可能な社会のための制度や政策づくりが、具体的な方法として示されています。

そして、SDGsを達成していくのは、国だけではありません。企業や研究者、市民団体、地域、学校、そして私たち一人一人もSDGsの担い手です。さまざまな人が協力し、立場を超えて話し合い、自由なアイデアで取り組むことが、地球の抱える複雑で困難な問題を解決し、よりよい社会をつくるためには欠かせません。

2030年、みなさんの多くが、持続可能な社会の創り手となっているはず。そのとき、みなさんはどのような社会であってほしいと思いますか？ みなさんが少し先の未来を想像することは、SDGsを達成するための大切な一歩です。そして、よりよい社会をつくるためのアイデアが浮かんだら、周りの人と協力して、一緒に行動しましょう。それが、SDGsを達成するために必要なパートナーシップになっていくことでしょう。

英語で
学ぶ！

partnership…パートナーシップ support …支援
Official Development Assistance…政府開発援助 (ODA)
creator of a sustainable society…持続可能な社会の創り手



地域の取り組み

立場を超えてつながり、持続可能な未来をつくる

—北九州SDGsクラブ—

北九州市では、SDGsに取り組む企業や団体・個人などの交流・連携を進めるために、北九州SDGsクラブを2018年11月4日に創設しました。2021年1月末現在、1,206の団体・個人（企業・団体・学校など849、個人357）が会員として参加しており、北九州市立の小・中・特別支援学校、高等学校、大学はすべて会員となっています。クラブでは、会員の活動発表や情報交換により、各々の活動の活性化を図る交流会の開催のほか、会員間の連携により地域の課題解決に取り組む「プロジェクトチーム」活動など、さまざまな取り組みを行っています。



北九州SDGsクラブ第1回交流会

webでくわしく



また、ホームページを開設して、会員情報の閲覧・検索、イベントなどの告知、北九州市のSDGsに関する取り組みの紹介なども行っています。



地域の取り組み

SDGs商店街を目指して —魚町銀天街の取り組み—

日本初のアーケード商店街である魚町銀天街は、2018年にSDGs商店街になることを宣言。商店街振興組合で意見を出し合い、関係者が協働しながら取り組みを進めています。



魚町銀天街の「まちゼミ」

これまでエコルーフ設置による省エネ対策、フードロス解消に向けた取り組み、空き店舗・空き家のリノベーションをはじめ、SDGsの達成のために、さまざまな取り組みを実践しています。特に、教育に力を入れており、すべての人がさまざまな専門的知識を無料で学ぶことができる「まちゼミ」を実施し、人と人を結ぶことで、持続可能なまちづくりを進めています。

webでくわしく



これらの取り組みにより、第3回ジャパンSDGsアワードで「内閣総理大臣賞」を、第1回SDGsクリエイティブアワードで「ゴールドアワード」を受賞するなど、国内において高い評価を受けています。

考えて
みよう

- ① SDGsの達成のため、あなたやあなたの学校が地域の人たちと一緒にできることを考えてみよう。
- ② SDGsの達成のため、あなたやあなたの学校が世界に貢献できることを考えてみよう。



What we can do for the earth

地球のために私たちにできること

ここまでSDGsを通して多くのことを学習してきました。よりよい未来をつくるため、私たちは、世界に存在するさまざまな課題を自分事としてとらえ、解決のための行動をとらなければなりません。この教材を通してSDGsについて理解を深めたみなさんが、2030年に北九州市民として、持続可能な社会をつくっていく担い手の一人となり、世界に発信する第一歩として、世界の共通言語である英語でSDGsについてあなたの思うことや考えることをまとめましょう！

In English!

英語で発信 私たちのSDGs

1. SDGsに関してあなたが考えることを英語でまとめてみよう！

Step 1

あなたが大事だと思うゴールを1つ選んで、その理由を英文にしてみよう

I will talk about SDGs.

I want to tell you about Goal [No.7].

大事だと思うゴール

We need to [leave the valuable resources] for the future.

①目標を選んだ理由「貴重な資源を残す」

- 《①の例》
- ・ make a society without discrimination
「差別のない社会をつくる」
 - ・ make a sustainable city
「持続可能なまちをつくる」



Step 2

Step 1 で選んだゴールを達成するために重要だと思う北九州市の取り組みやあなたがこれから取り組みたいことを英文にしてみよう！

(例) 北九州市の事例

I think it's very important to [make clean energy such as wind power generation] in Kitakyushu.

②「風力発電などクリーンなエネルギーを取り入れる」

(例) あなたが取り組みたいことの説明

例(1) I want to [use eco-bags for the global environment].

③「地球環境のためにエコバッグを使う」

例(2) I have decided to [study more about renewable energy].

③「再生可能エネルギーについてさらに学習する」

(例) 最後のまとめ

I'm sure that it will make the world better.

So I want to start what I can do.

《②の例》

- ・ make movies about human rights「人権に関する動画を作成する」
- ・ keep the heritage and culture「遺産や文化を保存する」

《③の例》

- ・ join events about human rights and peace

「人権や平和に関するイベントに参加する」

・ learn about Yahata Steel Works「八幡製鐵所について学ぶ」

2. 作成した英文をグループで発表し合い、SDGsの取り組みについてお互いの意見を交流しましょう！

Let's Try!!

今回作った英文に、あなたが取り組みたいことの理由を加えるなどして、あなたの思いがさらに伝わるスピーチの作成に挑戦してみよう！

《英作文例》「北九州市の環境への取り組みについて」

I was impressed with the ecological projects of my city.

「私は、私のまちの環境への取り組みに強い印象を受けました。」

Because, using renewable energy saves the earth.

「なぜなら、再生可能エネルギーを使うことは地球を救うからです。」

世界に誇る
北九州市!

次のQRコードを読み取ると、北九州市のSDGsに関する取り組みについて知ることができます。世界の持続可能な発展に貢献する北九州市の取り組みについて学習しましょう！



英語ブロンペンの
奇跡

北九州市SDGs未来都市
から発信する！ ESD

北九州市SDGs地域副読本 KITAKYUSHU SDGs Action

2021年4月1日 初版発行

編集・発行

北九州市教育委員会

〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号

電話 093-582-2368 FAX 093-581-5873

北九州市印刷物登録番号 第2022044A号

■取材協力・写真提供等

JICA九州／NPO法人ISAPH／ペシャワール会／PMS (Peace Japan Medical Services) ／西日本新聞社
こどもふれあい本部／認定NPO法人ロシナンテス／北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」／TOTO
株式会社／NEDO (国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構) ／株式会社デンソー九州／株
式会社安川電機／西日本オートリサイクル株式会社／魚町商店街振興組合／北九州ESD協議会／JICA／久野
真一／今村健志朗／衆議院事務局／Kim Haughto／UN Photo／首相官邸ホームページ／Melih Cevdet
Teksen／Shutterstock.com

■図版・イラスト

中谷聖子 (asterisk-agency)

■表紙

小倉 縞縞 KOKURA SHIMA SHIMA Photo by Kyoko Omori

■制作協力

東京書籍株式会社／EduTownSDGs

The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views
of the United Nations or its officials or Member States.

表紙について

この本の表紙は、北九州市にある「株式会社小倉縞縞」が、
SDGsの17の目標をモチーフに、世界の多様性も表現した小倉
織の生地『#129 SDGs Light』を撮影して使用しています。

(表紙:小倉 縞縞 KOKURA SHIMA SHIMA Photo by Kyoko Omori)

【株式会社小倉縞縞について】

北九州市の伝統的な織物である「小倉織」の特長を継承し、丈夫
で美しいたて縞を活かしながら新しい時代の小倉織を生み出し、
生地やバッグ・服など、現代のライフスタイルに合わせた商品
の企画・制作・販売を行っている会社。

〒803-0814 福岡県北九州市小倉北区大手町3-1-1F

TEL 093-561-0700 HP: <http://shima-shima.jp/>



名前